お預かりからお渡しまで、責任をもって作業を進めます。

お客様からお預かりした大切な品物を、適正な状態でお渡しできるように
それぞれの工程での検査と結果を、きちんと次の工程に引きつぎながら作業を進めます。

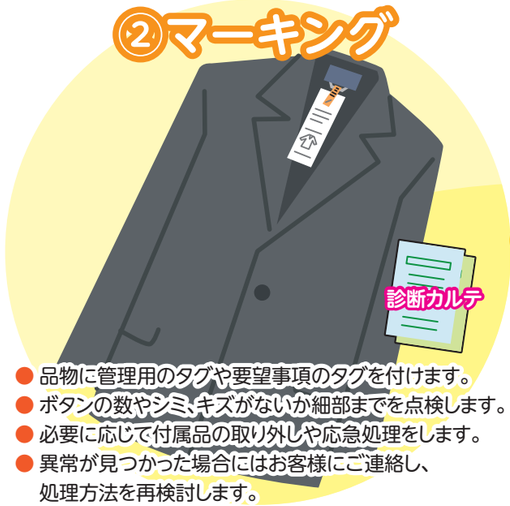
お客様とクリーニング店

①受付・検品

- 付属品の有無、シミやキズなどを点検します。
- 仕上げやシミ抜きなど、お客様のご要望を伺います。
- 預かり証(診断カルテ)に記入して、以降の工程にまわします。

クリーニング店

②マーキング



- 品物に管理用のタグや要望事項のタグを付けます。
- ボタンの数やシミ、キズがないか細部までを点検します。
- 必要に応じて付属品の取り外しや応急処理をします。
- 異常が見つかった場合にはお客様にご連絡し、処理方法を再検討します。
- 注意点などは診断カルテに記入します。

③分類

- 洗濯物の素材や汚れ、色などによって衣類を分類します。
- シミや汚れを落ちやすくするための前処理を行います。

④洗浄・乾燥

- 分類ごとに最も適した方法で洗濯します。
- 洗浄で除ききれなかったシミの処理をします。

⑤仕上げ

- 衣類に合った方法で仕上げを行います。

⑥検査

- 預かり証(診断カルテ)の内容と仕上がった状態のチェックを行います。
- 付属品の確認を行います。
- 問題がある場合、前の工程に戻すなど、対応します。

⑦包装

- 品物にビニールカバーをかけて、引渡しの準備を整えます。

⑧引渡し

- お客様の預かり証を確認します。
- お預かりした衣類が適正な状態であることをお客様と一緒に確認します。
- 状態に相違がある場合は、その理由についてご説明いたします。
- お預かりした衣類と一緒に診断カルテをお渡しします。

お客様へのお願いです。

クリーニングトラブル防止のために
受付、引渡しの際には
お客様も一緒にご確認をお願いします。

- クリーニングでは、シミ、変色、紛失等のトラブル事例があります。衣類は着用、クリーニングする度に徐々に劣化します。さらに、製造から時間が経つにつれ、経時劣化する素材もあります。クリーニングトラブルは複数の要素が重なって発生することが多く、時間が経つと原因や責任の特定が困難になります。
- クリーニングを出すとき、受け取るときには、必ず衣類の状態をクリーニング店と一緒に確認しましょう。

制作・著作 全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

クリーニングの“メリット”

おまかせください。

クリーニングでは、
衣類ケアのプロが素材や汚れに最適な洗い方を選択して仕上げます。
家庭での洗濯が難しい衣類も**キレイに仕上がり、風合いがよみがえります。**

衣類を守る大事な ポイント

「クリーニング」は、衣類に最適な洗い方で仕上がります。

衣類の素材や汚れによって最適な洗い方も違います。「クリーニング方法」の種類を知っておきましょう。

※一般的に言われている特性で、品物によって効果は変わります。

ドライクリーニングとは?

水洗いすると縮んだり、色が落ちたりするような衣類に対し、水の代わりに溶剤を用いることで衣類への影響を抑えた洗い方です。
主にスーツやコート、おしゃれ着などに用いられます。

洗濯の効果
(皮脂などの)油性の汚れ：◎
(汗などの)水溶性の汚れ：△

セーター、ワンピースなど

ランドリーとは?

水に対する耐久性のある衣類を、アルカリ洗剤などを用いて温水洗いする洗い方です。
主にワイシャツやシーツなどに用いられます。

洗濯の効果
(皮脂などの)油性の汚れ：○
(汗などの)水溶性の汚れ：◎

ワイシャツなど

ウエットクリーニングとは?

本来は水洗いできない衣類に付いた汗などの水溶性汚れを落とすため、型くずれなど衣類への影響を抑えた弱い力で、水を用いて行う洗い方です。
主に汗をかいたスーツなどに用いられます。

洗濯の効果
(皮脂などの)油性の汚れ：△
(汗などの)水溶性の汚れ：◎

サマースーツなど

衣類を守る大事な ポイント

家庭用洗濯機の「ドライコース」と クリーニング店の「ドライクリーニング」は違います。

クリーニング店の「ドライクリーニング」は、“水を使いません”。
水洗いで“衣類の形がくずれない”ようにするために生まれた、
ドライ溶剤を使った洗濯方法です。
家庭用洗濯機では“水洗い”しかできませんから、
「ドライコース」は「ドライクリーニング」とは違う洗濯方法になります。

家庭用洗濯機			クリーニング店	
ドライコース			ドライクリーニング	
水で洗います			水で洗いません	
ウールのセーターを洗った場合				
○	落ちる	水溶性の汚れ	あまり落ちない	△
×	落ちない	油溶性の汚れ	よく落ちる	◎
△	少ない	ウールダメージ	ない	◎
△	する	型くずれ	しない	◎
○	あまりそこなわない	風合いを	そこなわない	◎
△	する	色あせ	しない	◎

※表内の評価は一般的に言われている特性です。

※家庭用洗濯機では「水」でしか洗濯できません。家庭用洗濯機の「ドライコース」は、中性洗剤を用いて機械力を極力与えず、水でやさしく洗うことを意味しています。しかし水で洗う事には変わりないため、縮んだり、型くずれしたり、形態や風合いが変化する可能性があることを理解しておくことが重要です。

制作・著作 全国クリーニング生活衛生同業組合連合会